



CAn パートナー

伊藤 恭行

YOKOHAMA SEVEN SEAS' FESTIVAL FORUM

1959年 神奈川県生まれ  
 1984年 東京大学工学部建築学科卒業  
 1986年 シーラカンス一級建築士事務所を共同設立  
 1986年 東京大学大学院修士課程終了  
 1988  
 ~1997年 東京都立大学建築学科助手  
 現在 名古屋市立大学芸術工学部助教授  
 工学博士

## 「自分なりに筋が通ってないと嫌なんですよね」

インタビュー：東京電機大学 森田淳志/鶴崎有

### 敷地、コンセプトについて

僕は元々横浜出身なので、地元でやるのかなと思っていました。ルイス・カーンの先生でポール・クレという人がいて、卒業論文で研究課題として与えられました。その時にボザールの古典的な建築の手法が非常にシステムティックなアプローチで面白いと思いました。それで、自分でも一度やってみようと思ったのです。あとは構造的なことが割りと好きで、ダイナミックな形が作れたらいいなと思っていました。

### 用途としてはどのようなものだったんですか？

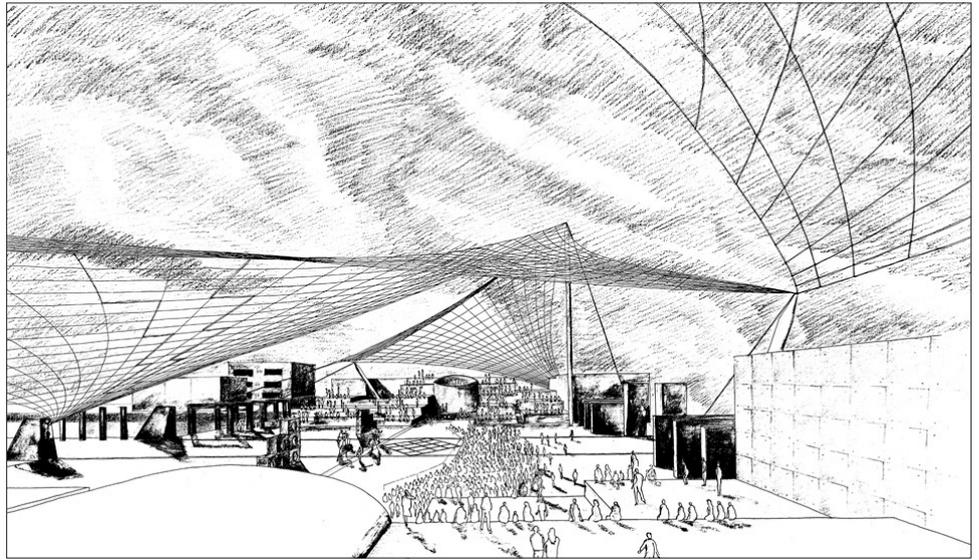
海が好きだったんで海洋博物館みたいなものをつくりました。博物館を中心に誰でも入れる広場兼イベントスペースを計画しました。広場の上は膜で覆いました。

### 構造的なことは今でもやはり考えますか？

卒業設計は膜構造でやりましたが、その頃から構造を考えるのは好きでしたね。自分の好みはやはり根強くあって、人によってそれぞれ筋の通し方はあると思うんだけど、僕の場合は構造的に筋が通ってないと嫌なんです。ハリボテの建築は好きになれません。基本的には構造は建築の骨格を決めるのにもものすごく重要だという意識は一貫して変わらないです。

### 構造的なことは昔から考えてましたか？

いや、そんなことはないですよ。学生時代の最初の頃なんて何にもわかんないでしょう。卒業設計の時もそんなにわかってたわけではなかったけど、体質的に好きだったことは間違いない。僕はそんなに優秀な学生じゃなかったんですよ。4年生になって、アメリカンボザールという19世紀的な建築手法を卒業論文のテーマに与えられて、無理やり勉強したんだけど、それが面白かった。建築の作り方の理屈が一つわかるようになって、それを通していろんな事が僕なりに解釈できるようになった。それがきっかけで、自分なりに理屈立てて考えられるようになってきた。それまではろくに勉強もしないで勤だけでやってたわけですよ。それが勤だけじゃなく、建築を考え



卒業設計 パース

られるんだっていうのがわかり始めたのがちょうど4年生の後半ぐらいだったかな。

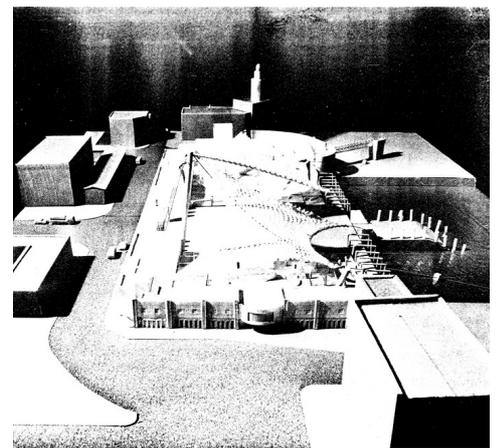
### 卒業設計と現在やっていることの関係性は？

つながってはいるでしょうけど、直接的な関係はないと思います。学生の頃に考えていた事がそのまま残るわけではないんで。ただ、出発点にはなっています。卒業設計っていろんなことを一生懸命考えるから、その時にわかり始めたことがきっかけになってどんどんいろんなことが分かっていくっていうかね。僕自身には、自分の建築に対する意識が変わるという経験はそんなに頻繁には起こってないんですよ。今まで25年以上も建築に関わってきて、自分のもの見方や作り方が変わったということは数回しかなくて、その最初の一回目が卒業設計だったのだと思います。そういう自覚が生まれる瞬間は、何年かに一度、下手したら10年に一度しか起きていない。まあ、才能のある人はもっと頻繁にあるのかもしれないけど、僕はそれくらいの頻度でしか起きていない。だけど、「わかった」と思えることがあると、以降はそれについてはものすごく自覚的に設計ができるようになる。自覚的というのは、何を意図して、どのような状態をつくらうとしているかがわかっていて、その上、それを実現するために具体的に何を（つまり形や開口や構造・構法、素材や色）操作すればいいかがわかっていることです。何となく、ではダメなんです。この自分で「わかる」という

ことはとても重要で、僕にとってはその最初が卒業設計だったのです。わかり方や、何がわかったかは建築家によってみんな違うと思うから、その人毎に発見していくんだと思います。

### 学生に一言御願います。

簡単にわかった気にならないことが大切だと思います。漫然と見ない。あの建築は「ああだよ」とか「こうだよ」とか簡単に言わない方がいい。わからないときは、わからないということを知覚する必要があります。気になる建築があったら、そこで何がやられているのだろうということを生懸命に見て、体験して、考えることが重要で、それが言語化できたり、仕組みがわかった瞬間に、それは自分のものになるからです。そういう意味で、きちんとものを見るのが大事なんだと思います。



卒業設計 模型写真

写真提供/CAn